

対馬空港

空港の概況

対馬空港は、対馬中央部の浅茅湾を望む標高97mの白連山を切り開き、複雑な切土・盛土により構成された山岳空港であり、3番目の県営空港として昭和50年6月供用を開始、引き続き拡張工事に着手し、昭和58年4月、県営空港初のジェット化が実現しました。



主な沿革

昭和50年 6月 供用開始(R/W1,500m)

昭和58年 4月 供用開始(R/W1,900m)

空港諸元

種別	地方管理空港(旧第三種空港)
設置管理者	長崎県
所在地	長崎県対馬市美津島町
標高	63.19m
滑走路	1,900m × 45m
航空灯火	飛行場灯台、旋回灯、進入路指示灯、進入角指示灯、滑走路灯、滑走路末端灯、滑走路末端識別灯、滑走路中心線灯、滑走路距離灯、過走帯灯、誘導路灯、誘導路中心線灯、誘導路案内灯、風向灯、エプロン照明灯
無線施設	LLZ、VOR/DME、NDB
運用時間	7:30～20:30